

復興教育を軸にした
学校づくりの実践について

野田村立野田中学校

野田村の太陽になろう

野田村の太陽にしよう

太陽プロジェクト

令和2年度 野田村立野田中学校復興教育全体計画

いわたの復興教育
 郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各年度の教育目標を通して、3つの教育
 的側面【いわた】【かかわる】【つたえる】を貫いて
 ・野田の復興を担う人材、未来を創出していくために、10年間、20年後のいわたの復興・発展を担うほど
 もたもたを育てる。

野田中学校の復興教育

「ひとつくり」(郷土野田村を愛し、その復興・発展を支える人材の育成)

復興教育プロジェクト「太陽プロジェクト」

プロジェクトの目標【学校教育現場と関わって】

息もがけ(急激にいくととも、自分自身を見つめ直す機会や社会との関わりを高めながら地域の

一員として積極的に地中や地域の状況に関わろうとする態度を育成する。

○考え・実践する力 ○判断する力 ○表現・行動する力 ○発信する力

○責任を担って行動する力、他者の中で意思決定して「う」としていきながら

活動テーマ 野田村の未来になる

復興教育での取り組みをベースに、自分たちの地域で地域を元気にするという目標を大切にし、3つの
 柱で地域の復興を、課題のものに関わり、自分たちで考え、考えたことを実践したり、行動にうつせるよ
 うに励める。

| | | |
|--|--|---|
| いわた 【命の中心について】 | かかわる 【いわたについて】 | つたえる 【復興・発展について】 |
| <p>食のサポート</p> <p>○心の健康相談 (食育)</p> <p>○体の健康(食育)</p> <p>○地域の防災準備による 食料支援(食育)</p> <p>【スクールカウンセラー】</p> | <p>食料支援の推進</p> <p>○食育の推進、食育の啓 蒙を推進する活動</p> <p>○地域の防災準備を推進 する活動(食育)</p> <p>○食育の推進を推進して いわたの復興を推進する 活動(食育)</p> <p>○食育の推進を推進して いわたの復興を推進する 活動(食育)</p> | <p>次世代に伝える</p> <p>… 伝える力 … 考える力 … 表現・行動する力</p> <p>○本校復興教育の歩み・想 いを、次世代へ伝える (生徒・教職員)</p> <p>○野田中三大文化の伝承</p> <p>☆発信する</p> <p>… 表現・行動する力</p> <p>○復興教育の取り組みを 地域や県内外へ発信する 体育祭、文化祭、県音研、 学校公開</p> |

つたえる
【伝承・発信について】

☆次世代に伝える
 … 創造する力
 … 考え・追究する力
 … 表現・行動する力
 ○本校復興教育の歩み・想
いを、次世代へ伝える
 (生徒・教職員)
 ○野田中三大文化の伝承
 ☆発信する
 … 表現・行動する力
 ○復興教育の取り組みを
地域や県内外へ発信する
 体育祭、文化祭、県音研、
 学校公開

1 震災・津波による野田村の被害と合言葉の誕生

<人的被害>

死亡者 37名(普代村の方も1名)

行方不明者 0名

※平成23年3月28日、行方不明者の捜索が終了した。

<家屋被害>

全壊 311棟 大規模半壊136棟 半壊32棟

一部損壊 36棟 合計515棟 ※平成27年7月現在



2 「創作太鼓」のはじまり、野田中三大文化



楽譜の読み方を教わる様子(上)

2012年 邦楽作曲家 佐藤三昭氏に作曲を依頼
⇒12月「路～いざ歩まん～」完成

2013年1月8日 佐藤三昭氏 三浦公規氏 初来校
⇒初太鼓指導会開催



太鼓のリズムを教わる様子(右)

2 「創作太鼓」のはじまり、野田中三大文化

創作太鼓



野田中ソーラン

合唱



2 「創作太鼓」のはじまり、野田中三大文化

～〇代目という呼称 2つの絆～

- ・代々受け継いできた「縦の繋がり」
- ・その学年の「横の繋がり」

⇒毎年2月に行われる「三年生を送る会～感謝と決意の会～」で襲名。生徒たちは伝統を引き継ぎ、さらに発展させていこうとする決意を新たにしてい

3 地域素財・外部人財の活用

○「ざい」は、あえて「財」を使用

地域の人やもの、環境全てがかけがえのない村の財産・財(たから)であるため

総合的な学習の時間を中心に、各教科で地域素財や外部人財を活用した授業を行うことで教育的効果を高める。

4 総合的な学習の時間での学び

○全体テーマ及び各学年のテーマ

全体 野田村の太陽になろう～ふるさとに生きる～

1年生 私たちの野田村を語れる人間になろう

2年生 私たちの野田村を発信しよう

3年生 私たちの野田村を創っていこう





生徒の感想

「1年生」

・「復旧」と「復興」の違いは、心の傷に関係しているという意見を聞いて、現在の野田村の皆さんの心の状態が気になった。また、野田中三大文化が震災と深く関わっていたことに驚いた。これからの活動は、何となくやるのではなく、思いをもって、村の人の心に響くような活動にしたい。

「2年生」

・今まで知らなかった創作太鼓の歴史を知ることができた。これまで何気なく叩いていたが、今日の授業で、先輩たちが支えてくれた人たちに対してどのような思いを込めて叩いていたのかが分かった。また、様々なところから支援を受けて今の創作太鼓があることを知った。歴代の先輩たちと活動を支援してきてくださった人たちに感謝したい。普通の生活を当たり前だと思わず、感謝して生活したい。

4 総合的な学習の時間での学び 「復興学習講演会」



A : いきる 未来づくり推進課
神田康弘氏 小野寺修一氏



B : かかわる 八戸高等専門学校
河村信治氏



C : そなえる 総務課庶務防災班防災官
工藤剛氏

4 総合的な学習の時間での学び「復興学習講演会」

A：いきる

- ・子育て支援（少子化対策）
- ・再生可能エネルギーの推進
- ・定住対策（一次産業の後継者対策）
- ・交流活動の推進

B：かかわる

- ・支援のきっかけ
- ・支援内容
- ・支援する際の配慮
- ・野田村との繋がり

C：そなえる

- ・避難所（短期的避難）と仮設住宅（長期的避難）の相違点
- ・避難所と仮設住宅、それぞれの役割と必要性
- ・防災対策（コロナ対応含む）



震災の教訓などを将来
に伝えていきたい…
85.1%



震災について伝えるため
には、知らなければいけな
い。色んな観点で震災に
ついて考える機会をつくり、
教員も一緒になって考え
る必要があるのでは…。



令和3年度の「全国中文祭岩手県大会」のオープニングを野田中学校創作太鼓が務めます。

本校の復興教育を積み重ねてきた、野田中創作太鼓9代目が復興の音色を奏でます。

野田中学校 創作太鼓
令和3年度の「全国中文祭岩手県大会」のオープニングを野田中学校創作太鼓が務めます。

野田 創作太鼓

背中押すリズム熱く

「野田村の太陽になろう」という合言葉を受け継がれていること。各世代が責任をもち、伝統文化を継承しようとする姿勢が養われていること。生徒が目的意識を持ちながら諸活動に取り組むようになっていること。学級、学校という集団の所属感と自己有用感が高まっていること。

5 発表のまとめ

＜復興教育の成果＞

- 「野田村の太陽になろう」という合言葉を受け継がれていること。
- 各世代が責任をもち、伝統文化を継承しようとする姿勢が養われていること。
- 生徒が目的意識を持ちながら諸活動に取り組むようになっていること。
- 学級、学校という集団の所属感と自己有用感が高まっていること。

＜今後の課題＞

- 震災の記憶の風化が年々進んでいること。
- 教職員の共通理解の必要性が高まっていること。